

令和2年度 林業普及週間現地情報(10/19～10/24)

森林管理課

早生樹等育苗研修

10月23日(金)

北部農林水産振興センター森林整備保全課では、早生樹※による森林整備(人工造林)を推進している。

早生樹にもいろいろな樹種があるが、その中で推進している樹種は「ウラジロエノキ」と「ハマセンダン」の2樹種。材質は共に軽量で加工が容易であることから、家具や小木工などへの利用が可能である。

しかし、これまでの造林実績は少なく、苗木の生産についても、生産者が取り組んではいるものの、失敗事例が多い状況である。

そのため、森林資源研究センターの協力のもと、北部管内で造林用苗木を生産している森林組合及び名護市を対象とした育苗技術研修を実施した。

これまでのウラジロエノキとハマセンダンについての調査・研究結果をまとめた資料により、井口主任研究員、玉城研究員からそれぞれ説明があり、各機関の苗畑担当者からは使用している資材や育苗における注意点等の質問があった。

今後も研究機関と連携し、生産技術の向上を図っていきたい。

※早生樹とは、その字のとおり「早く生長する木」の総称。一般的には、全国で主要な造林樹種であるスギ・ヒノキと比べて初期の成長量が大きな樹種を指し、10年から25年程度で収穫が可能。



資料による説明



コンテナ苗培地作成実習

(報告者：北部農林水産振興センター 今田、大城、森田)